

The Record 2023

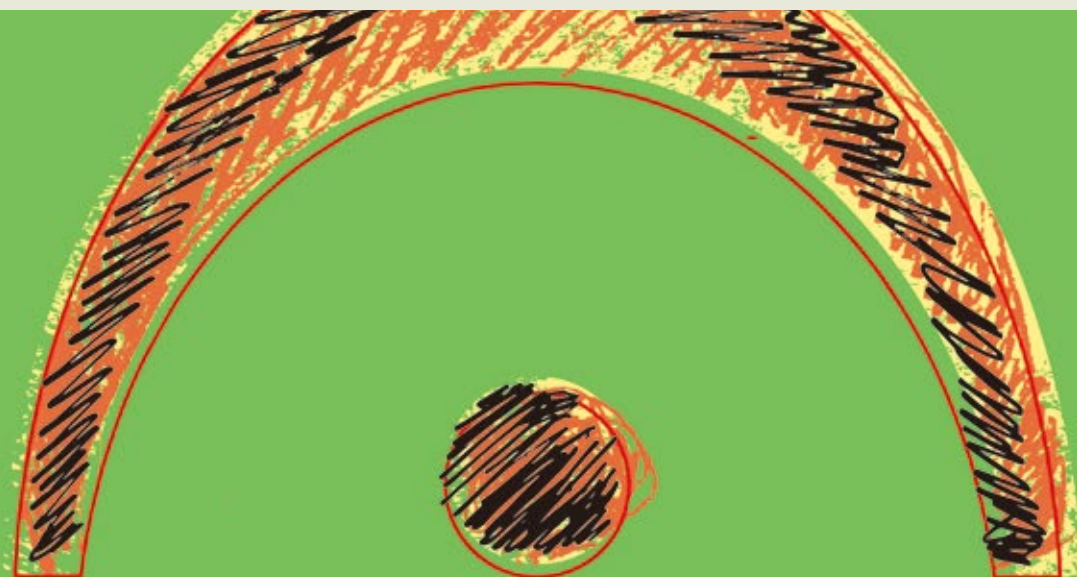
7・8 July / August

vol. 746

令和4年度事業報告

「知的財産推進計画2023」が決定

小西良太郎氏を偲ぶ



2023

7・8

July / August

CONTENTS

- 1 Monthly News Digest
- 3 **特集**
令和4年度事業報告
- 7 **特報**
「知的財産推進計画2023」が決定
- 8 小西良太郎氏を偲ぶ
- 9 Data File
- 11 Monthly Production Report
- 13 Certification



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人 日本レコード協会の登録商標です

Monthly News Digest

5/17 Wednesday

IFPI中央理事会開催

5月17日、IFPI(国際レコード産業連盟)中央理事会がイギリス・ロンドンのユニバーサルミュージックの会議室で開催された。今回も昨年に引き続き、ハイブリッド形式での開催となった。

中央理事会は、IFPIフランス・ムーア会長を議長とし、メジャーレーベル代表、インディーレーベル代表、主要国のレコード産業団体代表らによって構成される会議であり、今回はIFPI事務局を含め27名が参加した。当協会からは、村松会長、畑専務理事、楠本理事、辻野SML代表が出席した。

理事会では、まず2023年第1四半期の全世界音楽セールスについて、日本と韓国の力強い伸びとラテンアメリカ、アフリカの急成長により引き続き好調であること、その一方で、サービス開始以来大きな成長を続けていたストリーミングにやや鈍化の傾向が見られるといった状況が報告された。続いて「各国の統計精度向上に係る課題」「AIに関するIFPI法制委員会(ILC)からの提言とワークプラン」「実演家への対価還元(Performer's Remuneration)」「ストリーム回数の不正操作(Stream Manipulation)」などについて報告され、質疑応答や意見交換が行われた。また、日本からは、国会審議中(その後可決成立し5月26日に公布)の改正著作権法の概要、「レコード演奏・伝達権」を求める活動などを説明した。

次回は、今年11月にメキシコもしくはアメリカ・ニューヨークで開催される予定である。

5/30 Tuesday

CDおよびDVD・Blu-ray無断複製品販売事件で被疑者逮捕

埼玉県警察本部生活安全部生活経済

課及び埼玉県大宮署は、5月30日、当協会会員レコード会社が権利を有するDVD3点を違法に複製し、正規の商品と偽ってフリマアプリで男女3名に対し合計8,650円で販売していたとして、著作権法違反および詐欺の疑いで滋賀県在住の被疑者1名(30代男性)を逮捕したことを発表した。

この事件は、令和3年から当協会会員レコード会社が捜査に協力し大量のCDおよびDVD・Blu-rayなどを真贋鑑定していた著作権法違反被疑事件で、すでに令和4年8月に逮捕されている埼玉県在住の被疑者1名(30代女性)の関係者として警察が捜査していた被疑者宅(当時は大阪府枚方市)から約400点の海賊版を押収し、著作権及び著作隣接権を侵害したとして当協会会員レコード会社が告訴したもの。

今回の事件は、知的財産権侵害に係る事件として警察が長期間にわたり積極的に捜査を進めた結果によるもので、この種の事件に対する大きな警鐘となるものである。当協会及び会員レコード会社は、今後も警察との連携を密にし、積極的に違法対策に取り組んでいくとともに、サイト運営者への出品削除要請や出品者に対する注意・警告、また広報活動を通じて著作権の啓発に努めていく。

6/23 Friday

定時総会・第559回理事会開催

6月23日、当協会は東京都千代田区の東京會館LEVEL21において、定時総会および第559回理事会を開催した。定時総会では、令和4年度の実業報告および決算報告の審議承認の後、役員2名の選任が行われ、承認を得て選任された。(事業報告書の詳細は、3~6ページ「令和4年度事業報告」に掲載)。なお、役員の任期は2024年6月の定時総会までとなる。

6/28-30 Wednesday - Friday

WIPO・文化庁共催 音楽分野コーチングプログラム

6月28日～30日、WIPO(世界知的所有権機関)のアジア地域における著作権制度普及啓発事業の一環として、WIPO・文化庁の共催による「音楽分野コーチングプログラム」が開催された。このコーチングプログラムは、音楽ビジネスに携わる事業者やクリエイターを対象としたプログラムとして今回初めて実施されたもので、ネパール、マレーシア、モンゴル、フィリピン、ブータン、ベトナムから、レコード会社や音楽配信事業者の責任者ら12名が招聘された。28日には、当協会の楠本理事から、世界のレコード産業の概況や当協会が行うレコード集中管理事業、著作権教育・啓発活動、違法対策活動の概要について講演が行われ、参加者からは予定時間を超えて多くの質問が出るなど、高い関心が示された。



当協会役員人事

■新任(6月23日付)

[理事]

植田 勝教

株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
代表取締役社長

栗田 秀樹

株式会社テイチクエンタテインメント
代表取締役社長

■退任(6月22日付)

[理事]

齊藤 正明

株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
代表取締役会長

村上 剛

株式会社テイチクエンタテインメント
代表取締役専務

■委嘱業務の変更(7月1日付)

[理事]

楠本 靖

理事・事務局長
(前:理事 分配・業務部部长)

■代表者変更(6月29日付)

社名: 株式会社よしもとミュージック
(正会員)

変更後: 代表取締役社長
鈴木 豊康

変更前: 代表取締役社長
坂内 光夫

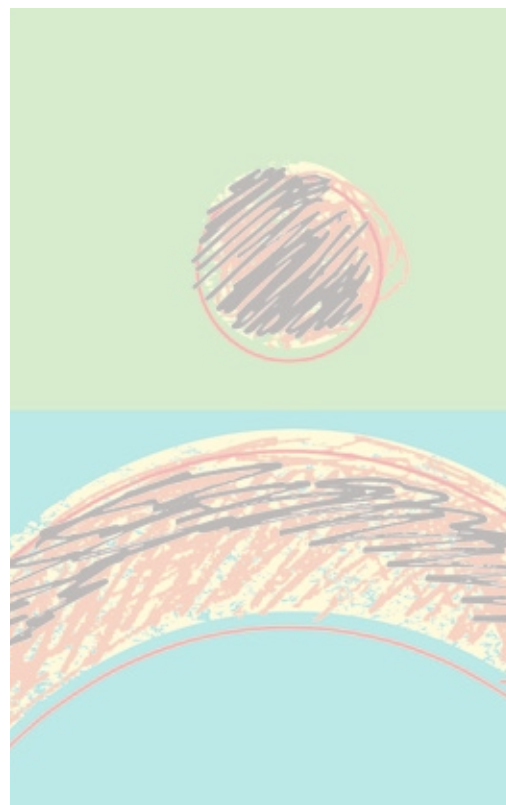
会員社のお知らせ

■代表者変更(6月1日付)

社名: 株式会社SDR(準会員)

変更後: 代表取締役会長兼社長
細野 義朗

変更前: 代表取締役社長
宮下 昌也



祝・日比谷野音100周年 日比谷音楽祭2023開催

6月3日・4日の2日間にわたり、東京・日比谷公園とその周辺施設で「祝・日比谷野音100周年日比谷音楽祭2023」が開催された。

日比谷音楽祭は音楽の新しい循環をみんなで作るフリーでポスターレスな音楽祭として2019年に誕生し、5年目を迎える今回は4年ぶりに公園全体を使った形でのリアル開催となった。

台風の影響により前日6月2日に予定されていた「日比谷YORU喫茶」など一部プログラムが中止・変更になったものの、3日午後からは晴天となり、2日間で約11万人を動員した。

ライブは今年が100周年に当たる日比谷公園大音楽堂(野音)をはじめとした5つのステージで行われ、計70組の多彩なジャンルのアーティストが出演、日比谷音楽祭ならではの豪華なコラボレーションを始めた魅力的なパフォーマンスが繰り広げられた。

日比谷公園を中心とした会場ではワークショップやトークショー、楽器体験など様々な音楽体験を味わえるプログラムが展開され、あらゆる年代の人々に様々な音楽の楽しみ方を提供する日比谷音楽祭が完全復活を遂げた。

▶日比谷音楽祭2023公式サイト <https://hibiyamusicfes.jp/2023/>



©日比谷音楽祭実行委員会

第20回東京国際ミュージック・マーケット (20th TIMM)開催決定!

20回目の記念開催となるTIMMの概要が決定した。今年度は4年ぶりに待望のフルスペックの会場開催を再開するイベントとなり、会場は今年4月に新宿歌舞伎町にオープンした「東急歌舞伎町タワー」へ移転。コロナ禍で停滞したリアル会場でのビジネスマッチングを再び活性化させるべく、よりパワーアップしたプログラムが用意される。



<第20回東京国際ミュージック・マーケット(20th TIMM)概要>

日程: 2023年10月25日(水)~27日(金)

会場: 東急歌舞伎町タワー(東京都新宿区歌舞伎町1-29-1)

主催: 一般財団法人日本音楽産業・文化振興財団、他(予定)

内容: 国内外の音楽・エンタメ業界関係者による商談会・
ネットワーキングの実施
ビジネスセミナー、ショーケースライブ等の実施

▶TIMMサイト <https://www.timmjp.com>
(TIMMの情報を随時更新予定)

令和4年度事業報告

当協会は令和4年4月30日に創立80周年を迎えた。令和2年からの新型コロナウイルス感染症（COVID-19）によるパンデミックには音楽業界も大きな影響を被ったが、この節目の年である令和4年のレコード産業の市況を振り返ると、音楽配信売上が9年連続のプラス成長で1,050億円（前年比117%）となり、統計開始以来の最高額を達成した。特にストリーミング市場が前年比125%の928億円と伸長し、音楽配信市場におけるシェアが83%から88%に拡大した。他方、音楽ソフト（オーディオレコード+音楽ビデオの合計）の生産金額は、オーディオレコードが前年比105%の1,349億円、音楽ビデオが前年比103%の675億円、合計の年間生産金額は前年比104%の2,023億円となり、令和元年以来3年ぶりの2,000億円を超えた。この結果、音楽ソフトの生産金額と音楽配信売上の合計は前年比109%の3,074億円となり、4年ぶりに3,000億円を超えた。

このような環境下、当協会では、担う役割を3つ（①業界の収益を「伸ばす」、②違法を「なくす」、③レコード産業からのメッセージを「伝える」）に整理し、優先度を付けて以下の事業に取り組んだ。

事業活動

[1]レコードの普及に関すること

1. 「音楽CDの再販制度」の維持と弾力運用の推進

- (1) 会員各社の再販弾力運用の取組みを報告書にとりまとめ、3月に公正取引委員会へ提出し、当協会ホームページで公表した。
- (2) ユーザーへの還元施策の一環であるインターネット廃盤セールについては、出品数の減少が見込まれたため、今年度の開催は見送った。

2. 業界広報の強化

- (1) 違法音楽アプリ規制に関する改正著作権法や音楽創造のサイクルを中心に学生に向けた著作権啓発活動を実施した。
- (2) 3月に学生向け就活サイト「マイナビTVライブ」において「会員社合同産業広報セミナー」をライブ配信にて実施した。会員社4社が参加し、2時間にわたりレコード会社の仕事内容や業界の魅力について語り、多くの大学生に視聴された。

3. 需要喚起関連事業

令和2年に公表を開始したストリーミング認定について、成長を続けるストリーミング市況をよりの確に反映するため、ダブル・プラチナおよびトリプル・プラチナのランク増設と運用方法の見直しを行い、令和5年1月度から新ランクによる運用を開始した。

4. 「日本ゴールドディスク大賞」の実施

ダウンロード賞の顕彰数見直しを行い、第37回となる「日本ゴールドディスク大賞」各賞を3月10日に発表した。アーティスト情報、コメント動画等を掲載した専用サイトを公開し、プレスリリースの配信と併

せて当協会公式ツイッターによる情報発信を行い、メディア露出を図った。

5. 日本音楽の海外展開の促進

会員各社の海外展開を支援する施策は、平成29年度から一般財団法人日本音楽産業・文化振興財団（JMCE）に一本化しており、今年度はハイブリッド開催となったJMCE主催「第19回東京国際ミュージック・マーケット（19th TIMM）」（10月17日～19日開催）への運営支援を行った。

6. RIAJセミナーの開催

会員社を対象に計6回開催した。（①対面、②～⑥オンライン）

- ① 4月8日「新入社員合同研修会」
- ② 7月12日「最近の労務問題」
- ③ 7月26日「インボイス制度説明会」
- ④ 12月8日「YouTube・コンテンツID拡充サポートプログラムについて」
- ⑤ 12月20日「インターネット上の著作権侵害状況とRIAJの違法対策」
- ⑥ 3月15日「2022年度音楽メディアユーザー実態調査報告会」

7. 音楽権利情報データベースの充実

令和3年4月1日に設立された「一般社団法人音楽情報プラットフォーム協議会」（新MINC）の構成団体として、音楽権利情報データベースの充実化等の業務に尽力した。その結果、新MINCが運営する『音楽権利情報検索ナビ』で公開する楽曲数は、今年度末時点で約1,142万件まで拡大した（4月1日時点約1,069万件）。

[2] レコード等に関する調査研究 およびデータの収集

1. 市場調査、産業統計の充実

音楽パッケージソフトの月別生産実績ならびに四半期毎の音楽配信売上実績を集計し公表した。

音楽配信売上実績の統計については、国内の市況を正確に反映したデータ公表を目的として、国際レコード産業連盟(IFPI)の統計基準に則した各種見直しとシステム改修を行った。また、より正確な日本の市場規模を反映すべく、IFPI報告に用いる各種指標の見直しを行った。

2. 音楽に関する消費者実態調査の実施

「2022年度音楽メディアユーザー実態調査」を実施し、音楽利用実態の推移や音楽消費の変化に関する定点調査については、違法音楽アプリの利用実態調査も盛り込んだ全面的見直しを行った。また、特定テーマとして「定額制音楽配信サービスに関する深掘り」「音楽無関心層に関する深掘り」調査を行い、報告書に取りまとめた。会員社向けの報告会は、3月にオンラインで実施した。

- (2) 海外サイトへの削除要請については、IFPIとの協働により、違法音楽アプリやリーチサイトにリンクする違法ファイル蔵置先のストレージサービスおよびCDN(Content Delivery Network)への対策を継続実施した。
- (3) アグリゲーター経由で正規DSPから行われていた会員社音源の無許諾配信235件について、アグリゲーターに対して配信停止を要請した。
- (4) スマートフォン向けアプリストア運営事業者に対する違法音楽アプリの削除要請を実施(App Store:6件、Google Play:17件、合計23件)し、今年度末の時点でApp StoreおよびGoogle Playストアには削除対象となる音楽アプリは皆無となった。

また、違法音楽アプリのリストを、一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構(CODA)を通じて広告関係団体へ定期的に提出し、当該団体会員社とリストの共有を図り、対象アプリへの広告出稿を行わないよう依頼を行った。

- (5) 違法音楽アプリについて、アプリストア側の協力により、削除申請からアプリ削除までの期間が平均4.3日(前年度平均7.7日)となった。
- (6) 音楽ファイルの違法アップローダーや海賊版の頒布者に対する当協会会員社の告訴件数は9件であった(前年度実績2件)。
- (7) P2Pファイル共有ソフトの悪質利用者について、プロバイダに対し発信者情報開示請求および非開示利用者の氏名等の開示請求訴訟を提起した。前年度非開示の回答があった6IPについて、ISP5社に対して開示請求訴訟を提起し、5社ともに開示を命ずる判決を得た。また、新たにファイル共有ソフト悪質利用者26IPについてISP12社に対して発信者情報開示請求を実施した。

[3] レコードを通じた 音楽文化の保存に関すること

1. 「文化庁芸術祭」への協力

「第77回文化庁芸術祭」のレコード部門申請窓口として57作品を参加申請し、参加が承認された31作品の中から芸術祭大賞1作品、優秀賞3作品が選出された。

2. 「日本プロ音楽録音賞」の共催

優秀な音楽録音作品を選定し、その録音エンジニアを顕彰する「第28回日本プロ音楽録音賞」を、当協会と一般社団法人日本音楽スタジオ協会、特定非営利活動法人日本レコーディングエンジニア協会、一般社団法人日本オーディオ協会および一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPNにより共催し、12月6日にKANDA SQUARE HALLにおいて授賞式を開催した。

[4] 著作権および著作権隣接権等の 普及・啓発に関すること

1. 音楽の違法利用を撲滅するための対策の強化

(1) 違法対策の専任組織「著作権保護・促進センター(CPPC)」において継続実施している動画共有サイト、ストレージサービス等に対する違法アップロードファイルの削除要請件数は、前年度比101%の201,041件となった(前年度199,841件)。

2. 著作権教育・啓発活動の実施

(1) 大学寄附講座の開設

レコード産業・著作権制度への若年層の理解を深めることを目的とした大学寄附講座「情報化社会におけるエンターテインメントビジネスと知的財産」を、昨年度に引き続き明治大学で開講し、全14コマをオンライン形式で実施した。履修登録数は3,086名となった。また、電気通信大学で「AI時代のエンターテインメントビジネスと著作権」を一般社団法人日本音楽出版社協会と合同で開講し、全15コマを対面授業と生配信によるハイブリッド形式で実施した。登録数は249名となった。

- (2) 主に中高生を対象に行っている職場訪問・出張授業対応実績は、職場訪問(オンライン開催を含む)が19校185名、出張授業が2校230名となった。
- (3) 音楽が制作される過程を学び、さらに上質な環境で音楽を体感する機会の提供を目的として、中高生を対象としたレコーディングスタジオ体験学習プログラムに、10校56名の学生が参加した。

(4) 著作権啓発パンフレットは、文化庁主催著作権セミナー等で累計2,194部を配布した。

3. レコードの業務上の演奏利用から適正な対価が還元される法制度創設に向けた活動

「知的財産推進計画2023」の策定に関する意見書において、「レコード演奏・伝達権」の創設を要望した。諸外国でレコード演奏・伝達権が導入済みである中、関係方面に対し、日本における権利不存在の状況が日本音楽の海外展開を促進する上でマイナスになり得ることを中心に説明し、権利創設の検討開始に向けた働きかけを行った。

4. 「バリューギャップ」問題の解決に向けた活動

いわゆる「バリューギャップ」問題の解決を図るため、「知的財産推進計画2023」の策定に関する意見書において、動画投稿サイトに係る法的ルールの見直しを含め、動画サイト運営事業者・権利者間の不均衡を解消するための措置の検討を要望した。

5. DX時代に対応した著作権制度の検討への対応

「DX時代に対応した簡素で一元的な権利処理方策」について、著作権分科会の関係者ヒアリングにて、市販レコード等の商用コンテンツは対象外にすべきとの意見を表明した結果、集中管理されている著作物等は新制度の対象外にするの取りまとめになった。また、新制度運用の中核となる分野横断権利情報データベースの構築に関して、有識者会合に委員を派遣し、音楽分野の知見を提供しながら方策の検討に参画した。以上の検討を踏まえた改正著作権法案が3月に閣議決定され、4月以降、国会で審議中である。

6. 一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会(SARTRAS)への参加

授業目的公衆送信補償金の指定管理団体に参加し、分配ルール及び実務運用の検討、共通目的基金事業の検討等に参画し、運営支援等を行った。当協会は、レコード製作者分の分配業務受託団体として分配額を決定する基礎資料となる利用報告データの整備業務を行い、令和3年度分の補償金3,367万円を受領した。

[5]レコード等に関するデータの公表

1. 出版物の刊行

機関誌「THE RECORD」を隔月で発行し、会員社、関係団体、官公庁、マスメディア、業界関係者などに配布した。また、毎年発行している年間統計資料集「日本のレコード産業2023」は、3月に日本語版を発行した。英語版は4月、中国語版は6月に発行予定。

2. ホームページの運営

当協会の活動とレコード産業に関する様々な情報を幅広く提供した。

[6]レコード製作者に係る商業用レコードの二次使用料に関する権利行使の受任、金額の取り決めならびに徴収および分配

1. 放送二次使用料収入の安定的確保

- (1) 来年度以降の二次使用料契約について、一般社団法人日本民間放送連盟(民放連)・一般社団法人衛星放送協会との間でそれぞれ協議を開始した。合意成立に向けて、次年度も引き続き協議を継続していく。
- (2) 二次使用料・複製使用料等の徴収額の合計は90億2,200万円(前年度比9.8%増)、権利者分配額は84億8,300万円(前年度比9.9%増)となった。

2. 二次使用料の放送実績分配への完全移行

2024年度放送二次使用料(2025年3月分配)からの完全移行を目指し、非会員のレコード製作者を代表する団体および日本音楽出版社協会に対し、実績分配への変更スケジュール、データ登録手順、変更の意思表示方法等の説明を行い理解協力を求めるとともに、今後の進め方の調整を開始した。また、分配ルールの見直しに伴い分配規程の改定案を作成するとともに、委任者への説明と意見聴取を行った。

3. 配信音源に係る二次使用料

放送事業者および有線放送事業者に加え、著作権管理事業者の理解と協力を得て、2022年4月放送分より配信音源を含むレコードの放送使用報告の受領を開始した。

[7]レコードに関するレコード製作者の複製権、譲渡権および送信可能化権等ならびに実演家の送信可能化権等に関する権利行使の受任、金額の取り決めならびに徴収および分配

1. ネット配信に係る集中管理に関する取組み

民放テレビ同時配信に係るレコード送信可能化使用料について、一般社団法人日本民間放送連盟と協議を行い、2022年度以前分に関して合意に至った。

2. 教育・文化・プライダルフ分野のレコード利用集中管理事業の推進

- (1) NHK放送コンテスト・バトントワーリング大会に係る

レコードの複製利用について、今年度の許諾件数は704曲（前年度比1.7%増）、徴収額は890万円（前年度比0.6%減）となった。

(2) ブライダルに係るレコードの複製利用について、今年度の使用回数は437,493回（前年度比71.4%増）、徴収額は4億7,200万円（前年度比21.0%増）となった。

また、許諾を得ずにレコードを利用する事業者に対する警告を行うとともに、当該事業者が過去に利用したレコード使用料の遡及清算を実施した。さらに、支払いが滞った事業者に対しては内容証明郵便の送付、少額訴訟を提起するなど債権回収に努めた。

（注：上記金額は、いずれも前項〔6〕1.（2）記載の合計徴収額の内数である）

ガイドライン]について、商品形態が多様化した現況に即して見直しを行い、10月に改訂版を発行した。また、レコード商品マスタ用オンラインデータ交換フォーマット（RIS504）別冊「各種コード一覧表」の改訂を行った。

5. ISRC(International Standard Recording Code)の管理機関としての活動

今年度は、Uプランの新規プレフィックスコード発行件数が14件（前年度30件）、JプランのISRC発行曲数13,490曲（前年度14,132曲）、Mプランの新規プレフィックスコード発行件数は1件（前年度5件）となり、その結果、3月末時点の累計はUプラン発行件数が1,962件、Mプラン発行件数9件、Jプラン発行曲数が287,013曲となった。

6. 福祉・厚生施設へのレコード寄贈

今年度（第60回）は、8,624枚の音楽CDを全国社会就労センター協議会会員施設539箇所へ寄贈した。

7. 80周年記念事業

当協会が創立80周年を迎えた4月30日に記念事業として記念誌を発行した。また、レコード産業に多大な貢献をされた6名を功労者として表彰し、プレスリリースおよび令和5年賀詞交歓会にて紹介した。

[8]レコード製作者に係る商業用レコードの公衆への貸与に係る報酬等に関する権利行使の受任、金額の取り決めならびに徴収および分配

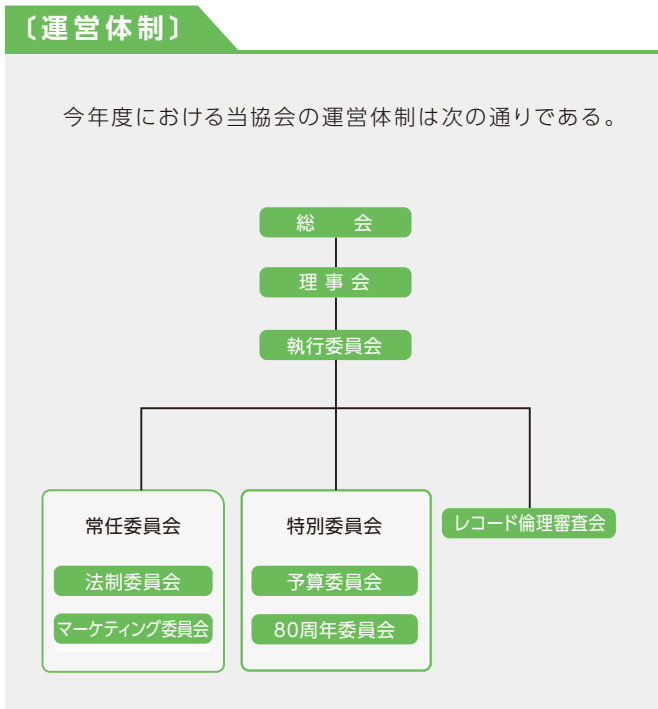
徴収額は2億7,000万円（前年度比41.6%減）、権利者分配額は2億3,600万円（前年度比42.9%減）となった。

[9]私的録音録画補償金に関する指定管理団体の構成員としての業務ならびにレコード製作者に係る当該補償金の受領および分配

一般社団法人私的録音録画補償金管理協会(sarah)から270万円（前年度比40.0%減）を受領し、220万円（前年度比45.0%減）を権利者に分配した。

[10]その他

- 1. 政府の審議会等への委員派遣および経済団体への参画等**
文化審議会著作権分科会等へ委員を派遣するなど、外部の会議体等に積極的に参画し、意見の表明を行った。
- 2. 国内・国外の団体、機関との連携活動**
国内の音楽関係団体、ならびにIFPIおよびRIAA等海外のレコード産業団体との連携と情報交換を実施した。
- 3. 「レコード倫理審査会」の開催・運営**
会員社から発売された全邦楽作品7,470点について審査を行った。
- 4. 業界規格(RIS)の制定と改正**
日本レコード協会規格(RIS)に準じる運用基準およびガイドラインのうち、「容器包装識別表示



「知的財産推進計画2023」が決定

2023年6月9日、首相官邸で知的財産戦略本部会合が開催され、「知的財産推進計画2023」が決定・公表された。

今年度は、多様なプレイヤーが世の中の知的財産の利用価値を最大限に引き出す社会の実現を目指し、右記の重点10施策が整理されている。

この重点施策のうち、レコード業界に関連する事項の施策の方向性について、概要を紹介する。

1 スタートアップ・大学の知財エコシステムの強化	6 デジタル社会の実現に向けたデータ流通・利活用環境の整備
2 多様なプレイヤーが対等に参画できるオープンイノベーションに対応した知財の活用	7 デジタル時代のコンテンツ戦略
3 急速に発展する生成 AI 時代における知財の在り方	8 中小企業/地方(地域)/農林水産業分野の知財活用強化
4 知財・無形資産の投資・活用促進メカニズムの強化	9 知財活用を支える 制度・運用・人材基盤の強化
5 標準の戦略的活用の推進	10 クールジャパン戦略の本格稼働と進化

3. 急速に発展する生成AI時代における知財の在り方

【生成AIと著作権】

・生成AIと著作権との関係について、AI技術の進歩の促進とクリエイターの権利保護等の観点に留意し、具体的な事例の把握・分析、法的考え方の整理を進め、必要な方策等を検討する。

テークホルダーの協力により、窓口組織の整備を図り、当該組織による体制構築やサービス内容等の具体化等が円滑に進められるようにするなど、施行に向けた準備と関係者への周知啓発等を行う。

・「分野横断権利情報データベースに関する研究会報告書」(2022年12月)に基づき、分野ごとのデータベース等と連携することにより権利情報の検索が可能となる「分野横断権利情報検索システム」について、著作権法の一部を改正する法律の施行にあわせて構築・運用されるよう、権利者、利用者をはじめ幅広いステークホルダーの協力を得つつ、各分野のデータベースを保有する団体等との連携、システム的设计・開発等に向けた取組を進める。同システムにおいては、可能な限りデジタルで完結できる仕組みを目指し、ニーズのある全ての分野のデータベースとの接続を行うことに加え、既存のデータベースに登録されていないコンテンツ(ネットクリエイターやネット配信のみのコンテンツ、集中管理されていない著作物など)の登録が円滑に行われるものにし、ニーズのあるあらゆる分野の著作物等を対象として、権利情報の確認や利用許諾に係る意思表示の確認ができる機能を確立することを目指す。2023年度は、優先的に連携すべきデータベース等の特定や連携方法の検討、検索画面のイメージを作成するとともに、集中管理されていない著作物等の既存のデータベースに登録されていないコンテンツの権利情報の登録の在り方について、ニーズ調査を行いつつ検討を行う。2024年度は、システムが備えるべき機能の詳細な要件等を検討する。

7. デジタル時代のコンテンツ戦略

【クリエイター主導の促進とクリエイターへの適切な対価還元】

・競争政策、デジタルプラットフォーム政策、著作権政策、情報通信政策等の諸政策の動向や、国際的ハーモナイゼーションの観点等を踏まえながら、クリエイター・制作事業者への適切な対価還元や取引の透明性の確保、権利処理・権利保護においてプラットフォームが果たす役割、インターネット上のコンテンツ流通の媒介者である通信関係事業者の役割等をめぐる課題について、各分野の実態把握と課題の整理を進める。

【海賊版・模倣品対策の強化】

・インターネット上の海賊版による被害拡大を防ぐため、インターネット上の海賊版に対する総合的な対策メニュー及び工程表に基づき、関係府省が連携しながら、必要な取組を進めるとともに、被害状況や対策の効果について逐次検証を行い、更なる取組の推進を図る。

・クリエイター・制作事業者に適切に対価が還元され、コンテンツの再生産につながるよう、リアル空間での取組はもとより、デジタル時代に対応した新たな対価還元策について、コンテンツ配信プラットフォームや投稿サイト等における著作物の利用状況(権利侵害を伴う利用実態を含む)、対価に関する情報の透明性、契約当事者間の関係性、権利保護・権利処理において投稿サイト等が果たすべき役割を踏まえ、関連各分野の実態把握・課題整理の取組と連携しながら、検討を進める。

【コンテンツ創作の好循環を支える著作権制度・政策の改革】

・第211回通常国会において成立した著作権法の一部を改正する法律による新たな裁定制度について、デジタル時代に対応したコンテンツ創作の好循環を促し、コンテンツの流通促進や、クリエイターへの対価還元の拡大等にも資するものとなるよう、関係府省との連携の下、利用者、権利者をはじめ幅広いス

・インターネット上の国境を越えた著作権侵害等に対し、国内権利者が行う権利行使への支援の取組の充実を図る。併せて、第211回通常国会で成立した著作権法の一部を改正する法律における海賊版被害の救済を図るための損害賠償額の算定方法の見直しについて、円滑な施行に向けた準備や周知を行う。

▶ 「知的財産推進計画2023」の本文及び関連情報は右記URLを参照。 <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2>

小西良太郎氏を偲ぶ

音楽評論家、音楽プロデューサー、俳優の小西 良太郎氏が5月13日に逝去されました（享年86）。同氏は2005年4月から本年4月まで、当協会のレコード倫理審査会学識経験者委員を長期にわたってお務めいただくなどご尽力いただき、またレコード産業の振興においても多大な功績を残されました。

同氏を偲んで、日本クラウンOBで現在は有限会社紙の舟 事務局長の広瀬 哲哉さんにお話を伺いました。



小西良太郎さんは“情の人” 諸々ありがとうございました

私が日本クラウンに大卒の新卒一期生として入社したのが昭和40年で、ちょうど小西さんがスポーツニッポンの音楽記者になった頃でした。小西さんはクラウンに日参しては、制作担当者も含めて親交を深め、星野哲郎先生のレコーディング現場にも顔を出していました。星野先生は社員と勘違いして「宣伝を頑張れ」と小西さんに話しかけたほど、小西さんは仲間のようにとけ込んでいたのです。そんな縁もあって星野先生と小西さんは親しい間柄になっていきました。小西さんは常々「自分は星野先生から物書きとしての操と志を学んだ」「自分は星野先生の弟子」とおっしゃっていましたね。

小西さんはとにかく“情の人”で、いつも相手を慮り、頼まれると嫌とは言えない優しい人でした。本来はレコード会社と音楽記者はギブ・アンド・テイクの関係なのに、私は小西さんから与えてもらったものの方が多い。音楽記者時代はどんな記事でも、必ず救いがある言葉でフォローしてくれました。人を傷つけることができない人だったのでしょう。音楽プロデューサーとしても活躍され、日本レコード大賞の審査委員としても貢献されましたが、小西さんほど歌手や作詞家、作曲家、レコード会社の人間と親交を深めた人はいません。小西さんは「癒着はダメだけど、密着はいいんだ。教わるよりも盗め。」というスタンスを貫いて、誰とでも“情の人”として接し続け、多くの方

から“統領”と慕われました。

また、小西さんは疎開先で“歌謡少年”だったと聞いています。そんな素地があるので、プロデューサーとしてもポイントをつかむことに長けていました。八代亜紀さんの「舟歌」では阿久悠さんの歌詞につけるメロディーを浜圭介さんに頼んで、そこに「ダンチョネ」の一節を加えるアイデアを思いついたり。その目利きはさすがでした。

1988年から2003年にかけて、星野先生がまだ知られていない歌手を紹介する機会を作りたい、歌で町おこしをしたいとおっしゃって、全13回の『全日本えん歌蚤の市』を催しましたが、NHKとの放送をまとめるのにリーダーシップを取ったのも小西さんです。周防大島以外では大阪、八丈島、北海道の鹿部といった町も回りました。みんなボランティアで星野先生に協力してくれて。周防大島の漁師のみなさんも魚を持ってきてくれたりと、毎回ウェルカムパーティーと打ち上げで大盛り上がりでした。星野哲郎記念館の設立にも尽力していただきましたが、蚤の市も記念館も「良太郎に任せるよ」と星野先生がおっしゃって実現した話です。星野先生と小西さんが似ていたのは「人に優しく、自分には厳しく」というところ。小西さんにも多くのことを教わりました。大きな恩があります。今は諸々ありがとうございました、としか言えません。

広瀬 哲哉

昭和40年(1965年)、創立後の新卒一期生として日本クラウン入社。同社宣伝部、取締役などを経て平成18年より故・星野哲郎氏の音楽事務所である有限会社紙の舟の事務局長を務める。



2023年第1四半期音楽配信売上実績公表

音楽配信売上は283億円(前年同期比113%)

ストリーミングは255億円(同117%)にまで成長

2023年第1四半期(1月~3月)の音楽配信売上実績は前年同期比113%の283億900万円となった。うち、ストリーミングは254億5,700万円と、音楽配信市場全体のほぼ9割にまでシェアを拡大している。

内訳は以下の通りである。

音楽配信売上実績

(単位)数量:千回,金額:百万円

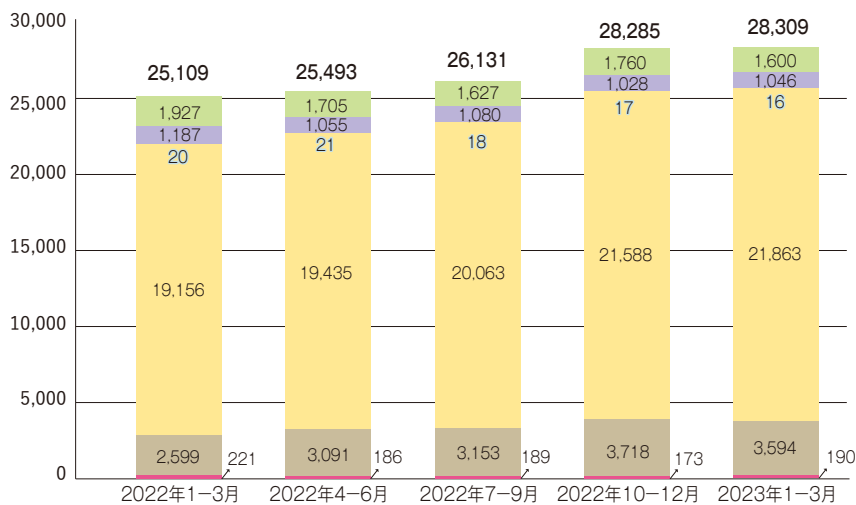
		2023年第1四半期(1月~3月)累計			
		数量	前年同期比	金額	前年同期比
ダウンロード	シングルトラック	9,765	79%	1,600	83%
	アルバム	878	91%	1,046	88%
	音楽ビデオ	45	74%	16	81%
	ダウンロード計	10,689	79%	2,663	85%
ストリーミング	サブスクリプション/音楽			20,522	113%
	サブスクリプション/音楽ビデオ			1,341	138%
	広告収入/音楽			2,125	206%
	広告収入/音楽ビデオ			1,469	94%
	ストリーミング計			25,457	117%
その他				190	86%
合計		10,689	79%	28,309	113%

備考 1・本統計は、会員会社の実績をとりまとめたもの。

2・単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

注: 数量…ダウンロード回数

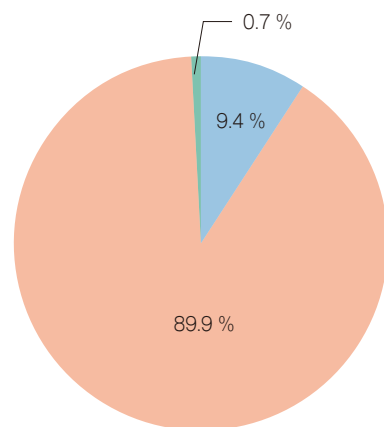
音楽配信四半期毎金額推移



単位:百万円

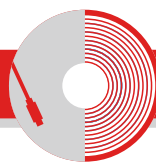


2023年第1四半期音楽配信売上金額区分別シェア



■ ダウンロード ■ ストリーミング ■ その他

※ その他…Master ringtones, Ringback tones, その他のデジタルコンテンツの合計

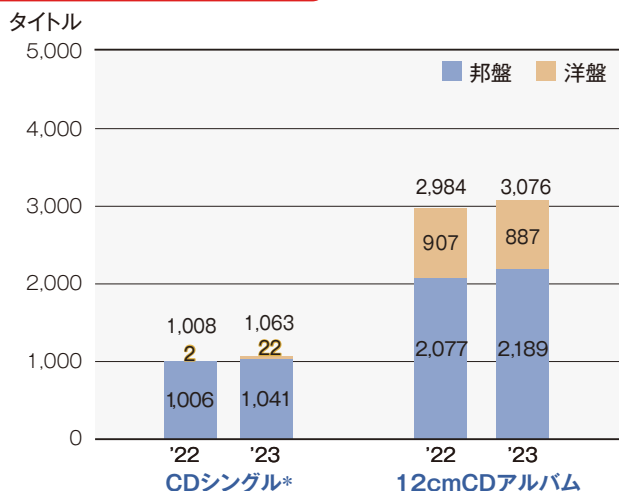


Data File

2023年上半期新譜数

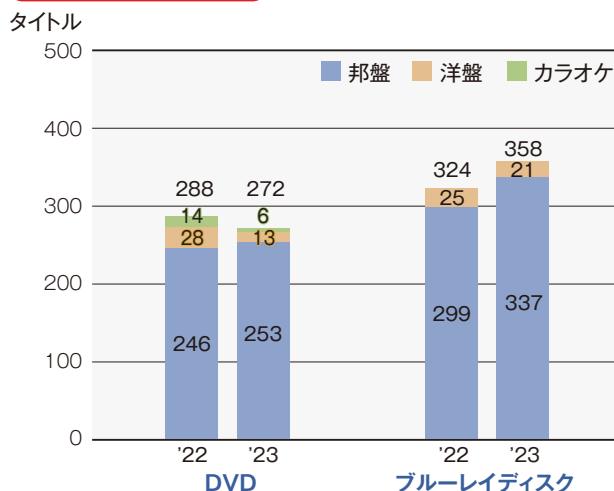
2023年上半期(1~6月)販売の新譜タイトル数がまとまった。オーディオは、合計で前年同期比106%の4,505タイトルとなった。また、音楽ビデオについては、合計で前年同期比103%の630タイトルとなった。

オーディオレコード新譜数



*8cmCD、12cmCDの合計

音楽ビデオ新譜数



オーディオレコードジャンル別新譜数

ジャンル		8cmCD シングル	12cmCD シングル	12cmCD アルバム	CD計	アナログ ディスク	カセット シングル	カセット アルバム	合計
邦盤	演歌	0	197	95	292	2	3	0	297
	ポップス・歌謡曲	5	686	1,596	2,287	212	0	7	2,506
	軽音楽	0	0	51	51	2	0	0	53
	サウンドトラック	0	1	177	178	7	0	0	185
	民謡・純邦楽	0	4	26	30	0	0	0	30
	教育・教材・童謡・童話	0	0	54	54	0	0	0	54
	アニメーション	0	128	111	239	5	0	0	244
	クラシック	0	1	24	25	0	0	0	25
	カラオケ	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	19	55	74	0	0	0	74
	邦盤計	5(250%)	1,036(103%)	2,189(105%)	3,230(105%)	228(136%)	3(60%)	7(175%)	3,468(106%)
洋盤	ロック・ポップス・ダンス	0	8	367	375	42	0	0	417
	ジャズ・フュージョン	0	0	165	165	35	1	0	201
	ポピュラーソング	0	2	76	78	46	0	0	124
	サウンドトラック	0	0	29	29	2	0	0	31
	クラシック	0	12	234	246	1	0	0	247
	その他	0	0	16	16	1	0	0	17
	洋盤計	0(-)	22(1100%)	887(98%)	909(100%)	127(134%)	1(-)	0(-)	1,037(103%)
合計	5(250%)	1,058(105%)	3,076(103%)	4,139(104%)	355(135%)	4(80%)	7(175%)	4,505(106%)	

音楽ビデオジャンル別新譜数

ジャンル	ディスク		テープ	その他	合計
	DVD	ブルーレイディスク	VHS	HD DVD	
邦盤	253	337	0	0	590
洋盤	13	21	0	0	34
カラオケ	6	0	0	0	6
合計	272(94%)	358(110%)	0(-)	0(-)	630(103%)

備考 1. 本実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売受託分を含む
 2. 単位:タイトル
 3. ()内は対前年比

4月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)の生産実績は、数量で前年同月比124%の1,687万枚・巻、金額で同122%の230億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比133%の1,209万枚・巻、金額で同138%の161億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比105%の478万枚・巻、金額で同96%の69億円となっている。

オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

	4月実績						2023年1月~2023年4月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
8cmCD シングル	邦	17	0	288%	18	0	497%	163	0	1712%	111	0	1784%
	洋	0	0	-	0	0	-	1	0	251%	1	0	734%
	計	17	0	288%	18	0	497%	163	0	1682%	112	0	1763%
12cmCD シングル	邦	3,064	25	71%	3,436	21	83%	12,539	34	127%	13,535	28	147%
	洋	10	0	723%	22	0	1419%	13	0	164%	25	0	292%
	計	3,074	25	71%	3,458	22	83%	12,552	34	127%	13,560	28	147%
シングル 計	邦	3,081	25	71%	3,454	22	83%	12,701	34	129%	13,646	28	148%
	洋	10	0	723%	22	0	1419%	14	0	166%	26	0	299%
	計	3,091	26	71%	3,476	22	84%	12,715	34	129%	13,672	28	148%
12cmCD アルバム	邦	7,830	65	204%	11,065	69	173%	21,069	56	126%	30,855	63	122%
	洋	909	8	144%	919	6	146%	2,806	7	102%	2,888	6	112%
	計	8,739	72	195%	11,984	75	170%	23,875	64	123%	33,744	69	121%
CD計	邦	10,912	90	133%	14,519	90	138%	33,771	90	127%	44,501	91	129%
	洋	918	8	145%	941	6	149%	2,820	8	102%	2,914	6	113%
	計	11,830	98	134%	15,460	96	138%	36,590	98	125%	47,415	96	128%
アナログ ディスク	邦	146	1	108%	321	2	127%	440	1	125%	890	2	137%
	洋	71	1	92%	169	1	111%	244	1	134%	583	1	157%
	計	217	2	102%	489	3	121%	684	2	128%	1,474	3	144%
カセット テープ	邦	11	0	208%	21	0	388%	21	0	161%	33	0	254%
	洋	0	0	24%	0	0	21%	1	0	57%	2	0	72%
	計	11	0	188%	21	0	322%	22	0	150%	35	0	224%
その他	邦	16	0	78%	30	0	102%	50	0	135%	91	0	172%
	洋	18	0	82%	50	0	168%	76	0	92%	145	0	103%
	計	34	0	80%	80	0	136%	125	0	105%	236	0	122%
合計	邦	11,084	92	133%	14,890	93	137%	34,281	92	127%	45,516	93	129%
	洋	1,007	8	138%	1,160	7	143%	3,140	8	103%	3,644	7	118%
	計	12,092	100	133%	16,051	100	138%	37,421	100	125%	49,160	100	128%

音楽ビデオ

	4月実績						2023年1月~2023年4月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
DVD	邦	2,776	58	114%	2,856	41	92%	9,909	55	144%	11,354	39	123%
	洋	12	0	107%	17	0	128%	48	0	105%	66	0	101%
	計	2,789	58	114%	2,872	41	92%	9,957	56	143%	11,420	39	123%
ブルーレイ ディスク	邦	1,971	41	94%	4,010	58	98%	7,857	44	135%	17,641	60	150%
	洋	19	0	253%	41	1	294%	41	0	142%	102	0	118%
	計	1,990	42	95%	4,051	59	99%	7,899	44	135%	17,743	61	149%
テープ・その他	邦	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	洋	31	1	164%	58	1	214%	90	1	119%	168	1	111%
	計	4,778	100	105%	6,923	100	96%	17,855	100	140%	29,163	100	138%

音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

	4月実績						2023年1月~2023年4月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
オーディオレコード計	12,092	72	133%	16,051	70	138%	37,421	68	125%	49,160	63	128%	
音楽ビデオ計	4,778	28	105%	6,923	30	96%	17,855	32	140%	29,163	37	138%	
合計	邦	15,832	94	123%	21,756	95	121%	52,047	94	131%	74,511	95	132%
	洋	1,038	6	138%	1,218	5	145%	3,230	6	104%	3,813	5	117%
	計	16,870	100	124%	22,974	100	122%	55,277	100	129%	78,323	100	132%

ビデオレコード(含音楽ビデオ)

	4月実績						2023年1月~2023年4月 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	3,581	58	99%	3,846	39	76%	13,115	56	122%	15,922	37	107%
ブルーレイディスク	2,573	42	93%	6,072	61	99%	10,396	44	126%	26,731	63	137%
テープ・その他	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
合計	6,154	100	96%	9,918	100	89%	23,511	100	124%	42,653	100	124%

オーディオ/ビデオレコード合計

	4月実績						2023年1月~2023年4月 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオレコード計	12,092	66	133%	16,051	62	138%	37,421	61	125%	49,160	54	128%
ビデオレコード計	6,154	34	96%	9,918	38	89%	23,511	39	124%	42,653	46	124%
合計	18,246	100	118%	25,969	100	114%	60,932	100	124%	91,814	100	126%

備考 1. 本統計は、当協会会員社の集計である。会員社が受託した非会員社からの販売受託分を含む。
 2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
 3. オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

5月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)の生産実績は、数量で前年同月比98%の1,226万枚・巻、金額で同104%の168億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比99%の937万枚・巻、金額で同105%の126億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比96%の289万枚・巻、金額で同101%の43億円となっている。

オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

	5月実績						2023年1月~2023年5月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
8cmCD シングル	邦	1	0	14%	1	0	11%	164	0	829%	112	0	619%
	洋	0	0	-	0	0	-	1	0	251%	1	0	734%
	計	1	0	14%	1	0	11%	165	0	823%	113	0	620%
12cmCD シングル	邦	3,863	41	182%	3,750	30	207%	16,401	35	137%	17,285	28	157%
	洋	2	0	722%	2	0	795%	16	0	185%	28	0	308%
	計	3,865	41	182%	3,752	30	207%	16,417	35	137%	17,313	28	157%
シングル 計	邦	3,864	41	182%	3,751	30	205%	16,566	35	138%	17,397	28	158%
	洋	2	0	722%	2	0	795%	16	0	186%	29	0	314%
	計	3,866	41	182%	3,754	30	206%	16,582	35	138%	17,426	28	158%
12cmCD アルバム	邦	4,338	46	88%	7,207	57	104%	25,407	54	117%	38,063	62	118%
	洋	832	9	37%	890	7	31%	3,637	8	72%	3,778	6	70%
	計	5,169	55	72%	8,097	64	83%	29,044	62	109%	41,841	68	111%
CD計	邦	8,202	88	116%	10,959	87	125%	41,972	90	125%	55,460	90	128%
	洋	834	9	37%	892	7	31%	3,654	8	73%	3,807	6	70%
	計	9,036	96	97%	11,851	94	102%	45,626	98	118%	59,266	96	122%
アナログ ディスク	邦	226	2	234%	481	4	255%	666	1	149%	1,372	2	163%
	洋	71	1	107%	168	1	108%	315	1	127%	751	1	142%
	計	297	3	182%	649	5	188%	981	2	141%	2,123	3	155%
カセット テープ	邦	20	0	477%	34	0	788%	41	0	238%	67	0	387%
	洋	0	0	14%	0	0	17%	1	0	44%	2	0	57%
	計	20	0	414%	34	0	647%	42	0	216%	69	0	330%
その他	邦	13	0	126%	24	0	131%	63	0	133%	115	0	161%
	洋	7	0	57%	14	0	51%	83	0	87%	158	0	95%
	計	21	0	87%	37	0	83%	146	0	102%	273	0	115%
合計	邦	8,461	90	118%	11,498	91	128%	42,742	91	125%	57,014	92	129%
	洋	912	10	39%	1,074	9	36%	4,052	9	75%	4,718	8	77%
	計	9,373	100	99%	12,572	100	105%	46,795	100	118%	61,732	100	123%

音楽ビデオ

	5月実績						2023年1月~2023年5月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
DVD	邦	1,474	51	80%	1,919	45	96%	11,383	55	130%	13,273	40	118%
	洋	12	0	78%	25	1	108%	61	0	98%	91	0	103%
	計	1,486	51	80%	1,944	46	96%	11,443	55	130%	13,364	40	118%
ブルーレイ ディスク	邦	1,393	48	121%	2,296	54	107%	9,250	45	133%	19,937	60	143%
	洋	8	0	49%	24	1	48%	50	0	108%	126	0	93%
	計	1,401	49	120%	2,320	54	106%	9,300	45	133%	20,063	60	143%
テープ・その他	邦	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	計	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
合計	邦	2,867	99	96%	4,215	99	102%	20,633	99	131%	33,210	99	132%
	洋	21	1	63%	49	1	67%	110	1	102%	217	1	97%
	計	2,887	100	96%	4,264	100	101%	20,743	100	131%	33,428	100	132%

音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

	5月実績						2023年1月~2023年5月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
オーディオレコード計	9,373	76	99%	12,572	75	105%	46,795	69	118%	61,732	65	123%	
音楽ビデオ計	2,887	24	96%	4,264	25	101%	20,743	31	131%	33,428	35	132%	
合計	邦	11,328	92	112%	15,713	93	120%	63,375	94	127%	90,224	95	130%
	洋	933	8	39%	1,123	7	36%	4,162	6	76%	4,936	5	78%
	計	12,261	100	98%	16,836	100	104%	67,537	100	122%	95,159	100	126%

ビデオレコード(含音楽ビデオ)

	5月実績						2023年1月~2023年5月 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	2,013	51	73%	2,729	38	90%	15,128	55	112%	18,652	37	104%
ブルーレイディスク	1,965	49	125%	4,498	62	120%	12,361	45	126%	31,230	63	134%
テープ・その他	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
合計	3,977	100	91%	7,228	100	107%	27,488	100	118%	49,881	100	121%

オーディオ/ビデオレコード合計

	5月実績						2023年1月~2023年5月 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオレコード計	9,373	70	99%	12,572	63	105%	46,795	63	118%	61,732	55	123%
ビデオレコード計	3,977	30	91%	7,228	37	107%	27,488	37	118%	49,881	45	121%
合計	13,351	100	96%	19,800	100	106%	74,283	100	118%	111,613	100	122%

- 備考 1. 本統計は、当協会会員社の集計である。会員社が受託した非会員社からの販売受託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
3. オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。



Certification



2023年4月度

ゴールドディスク認定

シングル | 邦楽

ダブル・プラチナ

どうしても君が好きだ	AKB48	2023.04.26	ユニバーサル ミュージック
TROPICAL NIGHT	JO1	2023.04.05	LAPONE Entertainment
One choice	日向坂46	2023.04.19	ソニー・ミュージックレーベルズ

プラチナ

ABARERO	SixTONES	2023.04.12	ソニー・ミュージックレーベルズ
---------	----------	------------	-----------------

ゴールド

天使は何処へ	≠ME	2023.04.12	キングレコード
求めよ・運命の旅人算／夢さえ描けない夜空には	BEYOOOOONDS	2023.04.12	アップフロントワークス(ゼイマ)
Smile Again	BE:FIRST	2023.04.26	エイベックス・エンタテインメント
PANORAMA JET	FANTASTICS from EXILE TRIBE	2023.04.19	エイベックス・エンタテインメント

アルバム | 邦楽

ミリオン

Mr.5	King & Prince	2023.04.19	ユニバーサル ミュージック
------	---------------	------------	---------------

ゴールド

Ryuichi Sakamoto 映画音楽ベスト [UF]	坂本 龍一	2002.10.23	ワーナーミュージック・ジャパン
初音ミク ベスト～memories～	ヴァリアス	2009.08.26	ソニー・ミュージックレーベルズ

アルバム | 洋楽

トリプル・プラチナ

SEVENTEEN 10th Mini Album [FML]	SEVENTEEN	2023.04.26	PLEDIS Entertainment
---------------------------------	-----------	------------	----------------------

ゴールド

'D-DAY'	Agust D	2023.04.22	BIGHIT MUSIC
ザ・ゲッタウェイ	レッド・ホット・チリ・ペッパーズ	2016.06.17	ワーナーミュージック・ジャパン

ビデオ | 邦楽

プラチナ

なにわ男子 Debut Tour 2022 1st Love	なにわ男子	2023.04.26	ジェイ・ストーム
--------------------------------	-------	------------	----------

※日付は発売日

ダウンロード認定

シングルトラック | 邦楽

プラチナ

インフルエンサー	乃木坂46	2017.03.15	ソニー・ミュージックレーベルズ
いけないボーダーライン	ワルキューレ	2015.12.31	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント

ゴールド

Stay Gold	BTS	2020.06.19	ユニバーサル ミュージック
NEO UNIVERSE	L'Arc~en~Ciel	2012.11.07	ソニー・ミュージックレーベルズ

※日付は配信開始日

ストリーミング認定

トラック | 邦楽

トリプル・プラチナ

新時代 (ウタ from ONE PIECE FILM RED)	Ado	2022.06.08	ユニバーサル ミュージック
ミックスマッツ	Official髭男dism	2022.04.15	ポニーキャニオン
怪獣の花唄	Vaundy	2020.05.11	SDR

ダブル・プラチナ

愛を伝えたいだとか	あいみよん	2017.04.12	ワーナーミュージック・ジャパン
今夜このまま	あいみよん	2018.10.24	ワーナーミュージック・ジャパン
私は最強 (ウタ from ONE PIECE FILM RED)	Ado	2022.06.22	ユニバーサル ミュージック

Feel Special	TWICE	2019.09.23	ワーナーミュージック・ジャパン
ハッピーエンド	back number	2018.11.29	ユニバーサル ミュージック
ブルーベリー・ナイツ	マカロニえんぴつ	2019.02.13	TALTO / murfin discs
ダンスホール	Mrs. GREEN APPLE	2022.05.24	ユニバーサル ミュージック

プラチナ

Love so sweet	嵐	2019.10.09	ジェイ・ストーム
スパークル	幾田 りら	2022.01.17	ソニー・ミュージックエンタテインメント
正しくなれない	ずっと真夜中でいいのに。	2020.12.17	ユニバーサル ミュージック
life hack	Vaundy	2020.03.23	SDR
恋風邪にのせて	Vaundy	2022.03.07	SDR
エメラルド	back number	2020.10.12	ユニバーサル ミュージック
アイラブユー	back number	2022.10.24	ユニバーサル ミュージック
そっけない	RADWIMPS	2020.05.15	ユニバーサル ミュージック

ゴールド

A・RA・SHI	嵐	2019.10.09	ジェイ・ストーム
Happiness	嵐	2019.10.09	ジェイ・ストーム
Monster	嵐	2019.10.09	ジェイ・ストーム
One Love	嵐	2019.11.03	ジェイ・ストーム
Turning Up	嵐	2019.11.03	ジェイ・ストーム
カイト	嵐	2020.12.11	ジェイ・ストーム
花束を君に	宇多田 ヒカル	2017.12.08	ユニバーサル ミュージック
さくらんぼ	大塚 愛	2015.02.23	エイベックス・エンタテインメント
ホワイトノイズ	Official髭男dism	2023.01.11	ポニーキャニオン
ばかまじめ	Creepy Nuts×Ayase×幾田 りら	2022.03.20	ソニー・ミュージックレーベルズ
イト	クリープハイブ	2017.04.26	ユニバーサル ミュージック
ケンナアソビ	クリープハイブ	2020.01.22	ユニバーサル ミュージック
BANANA	CREAM	2019.05.15	エイベックス・エンタテインメント
波乗りジョニー	桑田 佳祐	2019.12.20	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
遙か	GReeeeN	2017.01.24	ユニバーサル ミュージック
ロビンソン	スピッツ	2019.10.09	ユニバーサル ミュージック
サザンカ	SEKAI NO OWARI	2018.02.01	トイズファクトリー
LONELY NIGHTS	tofubeats	2017.05.19	ワーナーミュージック・ジャパン
Bye by me	Vaundy	2020.04.18	SDR
繋いだ手から	back number	2018.11.29	ユニバーサル ミュージック
瞳をとじて	平井 堅	2019.04.26	ソニー・ミュージックレーベルズ
Don't Leave Me	BTS	2018.04.04	ユニバーサル ミュージック
Pink Venom	BLACKPINK	2022.08.19	ユニバーサル ミュージック
ニュー・マイ・ノーマル	Mrs. GREEN APPLE	2022.03.18	ユニバーサル ミュージック
私は最強	Mrs. GREEN APPLE	2022.11.08	ユニバーサル ミュージック
色彩	yama	2022.10.02	ソニー・ミュージックレーベルズ
ピリミオン	優里	2023.01.19	ソニー・ミュージックレーベルズ
もしも命が描けたら	YOASOBI	2021.12.01	ソニー・ミュージックエンタテインメント
アイドル	YOASOBI	2023.04.12	ソニー・ミュージックエンタテインメント
カナタハルカ	RADWIMPS	2022.10.28	ユニバーサル ミュージック

トラック | 洋楽

プラチナ

Sugar	Maroon 5	2015.02.04	ユニバーサル ミュージック
-------	----------	------------	---------------

ゴールド

Beautiful Now (feat. Jon Bellion)	Zedd	2015.05.14	ユニバーサル ミュージック
We Don't Talk Anymore (feat. Selena Gomez)	Charlie Puth	2016.01.29	ワーナーミュージック・ジャパン

※日付は配信開始日

ゴールドディスク認定

シングル | 邦楽

ミリオン

シンデレラガール	King & Prince	2018.05.23	ユニバーサル ミュージック
----------	---------------	------------	---------------

ダブル・プラチナ

DROP That	INI	2023.05.24	LAPONE Entertainment
-----------	-----	------------	----------------------

プラチナ

未完成	関ジャニ∞	2023.05.10	ジェイ・ストーム(インフィニティ・レコーズ)
Cream	Sexy Zone	2023.05.03	Top J Records
DEAR MY LOVER / ウラオモテ	Hey! Say! JUMP	2023.05.31	ジェイ・ストーム

ゴールド

16BOOSTERZ	THE RAMPAGE from EXILE TRIBE	2023.05.02	エイベックス・エンタテインメント
Hare Hare	TWICE	2023.05.31	ワーナーミュージック・ジャパン
AIIVIN	Knight A - 騎士A -	2023.05.10	STPR Records
僕は今夜、出て行く	22/7	2023.05.24	ソニー・ミュージックレーベルズ

アルバム | 邦楽

ミリオン

i DO ME	Snow Man	2023.05.17	MENT RECORDING
---------	----------	------------	----------------

ゴールド

WAVE	IVE	2023.05.31	ソニー・ミュージックレーベルズ
ひみつスタジオ	スピッツ	2023.05.17	ユニバーサル ミュージック

アルバム | 洋楽

ゴールド

DARK BLOOD	ENHYPEN	2023.05.26	BELIFT LAB
UNFORGIVEN	LE SSERAFIM	2023.05.03	SOURCE MUSIC

※日付は発売日

ダウンロード認定

シングルトラック | 邦楽

ゴールド

或る街の群青	ASIAN KUNG-FU GENERATION	2006.11.29	ソニー・ミュージックレーベルズ
アンコール	YOASOBI	2021.01.06	ソニー・ミュージックエンタテインメント
アイドル	YOASOBI	2023.04.12	ソニー・ミュージックエンタテインメント
春泥棒	ヨルシカ	2021.01.09	ユニバーサル ミュージック

※日付は配信開始日

ストリーミング認定

トラック | 邦楽

トリプル・プラチナ

残響散歌	Aimer	2021.12.06	ソニー・ミュージックレーベルズ
青と夏	Mrs. GREEN APPLE	2018.07.12	ユニバーサル ミュージック
点描の唄(feat. 井上苑子)	Mrs. GREEN APPLE	2018.07.31	ユニバーサル ミュージック

認定基準

ゴールドディスク認定(音楽ソフト/カテゴリ: アルバム、シングル、音楽ビデオ)
ダウンロード認定(ダウンロード/カテゴリ: 着うた ⑥、シングルトラック、アルバム)

認定ランク	ゴールド	プラチナ	ダブル・プラチナ	トリプル・プラチナ	ミリオン	2ミリオン
基準	10万以上	25万以上	50万以上	75万以上	100万以上	200万以上

【基準単位】ゴールドディスク認定: 枚数、ダウンロード認定: ダウンロード数

備考 1. 着うた ⑥のみダブル・プラチナ以上を顕彰

2. 「着うた ⑥」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です

3. 3ミリオン以降、100万毎に認定

ストリーミング認定(ストリーミング/カテゴリ: トラック)

認定ランク	ゴールド	プラチナ	ダブル・プラチナ	トリプル・プラチナ	ダイヤモンド
基準	5千万以上	1億以上	2億以上	3億以上	5億以上

【基準単位】ストリーム数

数量は、GfK Japan(ジーエフケー・インサイト・ジャパン株式会社)の提供データを元に当協会にて累計ストリーム数を算出したもの

集計対象音楽ストリーミングサービス: Amazon Music Prime、Amazon Music Unlimited、Apple Music、au うたパス、AWA、KKBOX、LINE MUSIC、Rakuten Music、Spotify、TOWER RECORDS MUSIC powered by レコチョク、YouTube Music、YouTube Music Premium

下記終了済サービスの再生回数も累積して集計しています。

dミュージック月額コース、Google Play Music、HMVmusic powered by KKBOX、RecMusic

ダブル・プラチナ

逆夢	King Gnu	2021.12.24	ソニー・ミュージックレーベルズ
Overdose	なとり	2022.09.07	ソニー・ミュージックレーベルズ
僕のこと	Mrs. GREEN APPLE	2018.12.26	ユニバーサル ミュージック

プラチナ

君に夢中	宇多田 ヒカル	2021.11.26	ソニー・ミュージックレーベルズ
プロローグ	Uru	2020.03.18	ソニー・ミュージックレーベルズ
Lovers	sumika	2018.12.27	murfin discs
第ゼロ感	10-FEET	2022.11.09	ユニバーサル ミュージック
Ditto	NewJeans	2022.12.19	ユニバーサル ミュージック
Soranj	Mrs. GREEN APPLE	2022.10.18	ユニバーサル ミュージック
アイドル	YOASOBI	2023.04.12	ソニー・ミュージックエンタテインメント
アイネクライネ	米津玄師	2020.08.05	ユニバーサル ミュージック
再会 (produced by Ayase)	LiSA, Uru	2020.11.16	ソニー・ミュージックレーベルズ
ANTIFRAGILE	LE SSERAFIM	2022.10.17	ユニバーサル ミュージック

ゴールド

花火	aiko	2020.02.26	ポニーキャニオン
憂、燦々	クリープハイブ	2013.04.17	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
また君と (feat. Ms.OOJA)	JAY'ED	2014.11.06	ユニバーサル ミュージック
Merry Go Round feat. BASI, 睡奇, VIGORMAN & WILYWNKA	GeG	2019.07.19	Goosebumps Music
美しい鱈	スピッツ	2023.04.10	ユニバーサル ミュージック
secret base ~君がくれたもの~ (Album Version)	ZONE	2013.03.04	ソニー・ミュージックレーベルズ
残酷な天使のテーゼ	高橋 洋子	2015.09.18	キングレコード
最後の雨	中西 保志	2012.03.21	日本コロムビア
Attention	NewJeans	2022.08.01	ユニバーサル ミュージック
RUN	BTS	2015.11.30	ユニバーサル ミュージック
リンジュー・ラヴ	マカロニえんぴつ	2023.01.14	トイズファクトリー
しるし	Mr.Children	2018.05.10	トイズファクトリー
星月夜	由薫	2023.02.08	ユニバーサル ミュージック
キャラクター	緑黄色社会	2022.01.21	ソニー・ミュージックレーベルズ

トラック | 洋楽

プラチナ

Renegades	ONE OK ROCK	2021.04.16	ワーナーミュージック・ジャパン
-----------	-------------	------------	-----------------

ゴールド

Savage	aespa	2021.10.05	ワーナーミュージック・ジャパン
Marry You	Bruno Mars	2012.07.03	ワーナーミュージック・ジャパン

※日付は配信開始日

協会からのお知らせ

当協会は、『日本のレコード産業2023』の中国語版である『日本的唱片产业2023』を発行いたしました。本誌は、2022年のレコード産業の概要を網羅した小冊子で、日本語版同様、レコードの生産実績、音楽配信売上、新譜・カタログ数、ミリオン認定などの情報を幅広く掲載しています。

▶RIAJ『日本的唱片产业2023』
<https://www.riaj.or.jp/f/e/issue/industry/>



編集後記

当協会では著作権啓発活動の一環として中高生を対象に職場訪問の受け入れやレコーディングスタジオ見学プログラムを実施していますが、今年は修学旅行がコロナ前の状況に戻り、5月から6月にかけて毎週沢山の中学生が参加してくれました。とある日のスタジオ見学で学生が持ってきたCDをスタジオのスピーカーで大音量で聴く…という体験をしていた時、感動して学生たちが涙を流していたのが印象的でした。思い出が詰まった曲だったようですが、改めて10代の感性の鋭さと音楽のパワーを感じさせられた出来事でした。(K)

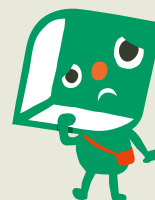
THE RECORD No.746 2023年7・8月合併号

一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 村松 俊亮
編集人 畑 陽一郎
発行日 2023年7月25日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒105-0001
東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9階
TEL.03-5575-1301(代) FAX.03-5575-1313
URL:<https://www.riaj.or.jp/>

編集協力 株式会社金羊社 / 合同会社ヤマモトカウシル

■当機関誌へのご意見・ご感想がございましたら
当協会公式サイト(URL:<https://www.riaj.or.jp/>)のお問い合わせページよりお寄せください。



エルマークキャラクター
エルマーくん